

かしわ



No. 4 平成30年6月1日 睡蓮の花

子どもとの関わりについて考える

校長 北村 耕一

今年度も6月に入りました。慌ただしかった4月が過ぎ、天候にも恵まれた5月には、既に報告させていただいていますが、各学部で多くの行事が行われました。また、授業等も順調に進んでいます。

私は、本校の「長所」の1つは、学校生活の時間が「ゆったり」と流れていることだと思います。

これは、幼児児童生徒数が少なく、学級担任や教科担任、各担当者と「マンツーマン」的に関わって指導されていることに依るものですが、プラス「物理的」ではないものが存在しているように思われるのです。

それは「何か?」。表現することが難しいのですが、「子どもとの関わり方」なのかなと思います。

保護者・教職員の「子どもとの関わり方」の根底に共通して流れている「心理的」なものが「ゆったり」とした時間を醸成しているのではないのでしょうか。その「心理的」なものは、保護者・教職員の「知識」や「経験」からくる(子ども)育て＝「子どもとの関わり方」に依るものではないのでしょうか。

例えば、「知識」を得ることの資料として、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所が平成28年3月に発行した「聴覚障害教育Q&A50～聴覚に障害のある子どもの指導・支援～」というものがあります。本校の教職員も日々の関わり方を考えるうえで参考にさせていただいているものです。

この中には、「Q3:『9歳の壁』とはどういうことでしょうか」、「Q4:聴覚障害児の言葉が育ちにくいのはどうしてでしょうか」、「Q10:『一次的事

ば』と『二次的事ば』について教えてください」、「Q11:言語指導とは何ですか。実際にどのような指導をするのでしょうか」、「Q14:聴覚障害児が言語を獲得していくための配慮事項について教えてください」、「Q42:幼児に色や動物、物などの名前を覚えさせるには、どうしたらよいのでしょうか」、「Q43:家庭で絵日記(日記)を書かせる場合、どのようなことをアドバイスするとよいですか」等、50のQ&Aが書かれています。(国立特別支援教育総合研究所のHPから読むことができます)

子ども個々によってその特性は異なりますが、専門家の「経験」から得られた一般論的な内容を「知識」として持っていることは、保護者・教職員の「心のゆとり」を生み出すことにつながるものと思います。

シゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授は「幼児教育の経済学」の中で「幼児教育は学力だけでなく、根気強さや注意深さ、意欲などの『非認知能力』を育むのが大切だ」と述べているそうです。

本校の幼稚部では、それまでの生活体験と大きく異なる「学校教育」という(緩やかですが)「枠」の中での集団生活＝活動が行われています。

幼稚部の1年生は現在、戸惑いながら「根気強さ」「注意深さ」を身に着けている時期です。そうした「非認知能力」を幼稚部の時に学び、小学部、中学部、高等部と個々の発達や個性に応じて成長し、「生き抜く力」を身に着けていきます。

本校独特の「ゆったりした時間」が醸し出す効果を保護者・教職員が共有し、さらに共通理解して、今後も子どもに関わっていただくことを願います。

小学部 春の遠足

小学部 小松 彩香

5月11日(金)、春の遠足で「ルイの丘」に行きました。子どもたちは全員参加することができました。その日は天気恵まれ、遠足日和でした。

集合場所が京急久里浜駅で、子どもたちは到着後いろいろな先生や友達に「おはようございます」と笑顔で大きな声で挨拶をしていました。一人ひとりがこの日の遠足をとても楽しみにしているのがすぐに伝わりました。

ルイの丘に着いてすぐにゆ係が考えた「ジェスチャーゲーム」「こおりおに」を行いました。ゆが終わった後、少し時間があつたので、新しくなった公園で全員汗びしょりになりながら遊び、楽しそうに遊んでいました。



その後は、待ちに待ったお弁当の時間です。子どもたちはお弁当を見せあいながら嬉しそうに食べていました。食べ終わった後は、もちろんお菓子タイムです。友だちにお菓子をあげたり、もらったりしていました。

午後はふれあい動物村で、いろいろな動物に餌をあげたり、触ったりしてとても「のほほん」とした時間を過ごしました。他の学校の児童生徒も来ていて、混んでいましたが、班長は全員いるかどうかの確認をし、「〇班います!」と大きな声で答えてくれました。

帰りの電車はさすがに子ども達にも疲れの表情が見えましたが、最後まで怪我なく帰ってくる事ができました。今から秋の遠足も楽しみです。

幼稚部 こどもの日の会の様子

幼稚部 吉川 知彦

5月2日(水)、こどもの日の会を行いました。この会に向けて、すみれ組の幼児を中心に、たんぽぽ組の3人の幼児もたくさん練習をしてきました。

練習では、毎朝、鯉のぼりをあげ、「鯉のぼり」の歌を歌いました。空高く舞う鯉のぼりに聞こえるよう、みんなで大きな声で歌いました。練習後、空を泳ぐ鯉のぼりに触ろうと、ぴよんぴよんジャンプをする姿がとても微笑ましかったです。

当日は、まず玄関に飾った立派な五月人形に柏餅と菖蒲をみんなでお供えしました。その後、教室に戻り、すみれ組の幼児が司会をして会を進めてくれました。まず練習してきた「鯉のぼり」の歌をみんなで歌います。その後「爆弾ゲーム」をして楽しみました。



この会には、乳幼児相談に来ている子どもたち親子も参加してくれたので、とても楽しい会になりました。最後に柏餅を食べ、こどもの日の会を無事終了することができました。大勢の前で鯉のぼりの歌を歌った子どもたち、本当に立派でした。鯉のぼりのように元気に成長してくださいね。

6月の主な予定(詳細は学部・学級たよりで確認)

- 1日(金) 全校清掃(グラウンド)
- 2日(土) 神奈川県ろう学校 PTA 総会(平塚ろう学校)
- 4日(月)~29日(金) 通級: 在籍校学級担任面談
- 5日(火) 中高等部: 春の遠足(ふれあいコンサート・横浜)
小学部: アイクル見学(AM)
- 6日(水) HA 相談、PTA 校長と語る会・給食試食会
- 7日(木) 鎌倉女子大学介護実習体験受け入れ
- 8日(金) 中高等部: 神体連陸上競技大会
- 9日(土) 関東聾学校 PTA 総会(都立大塚ろう学校)
- 11日(火) 眼科検診 13:30
- 14日(木)~15日(金) 中高等部: 中間試験
- 15日(金)・20日(水) 給食終了後下校
- 26日(火) 小学部5年生芸術鑑賞会
- 29日(金) 幼稚部: 校外活動(観音崎)

